



Ver.

15

1041100155-P225430



 JUSTSYSTEM

ATOKのキー機能

ジャストウィンドウの
キー機能

一太郎のキー機能



Quick Manual [クイックマニュアル]

ファンクションキーの機能

一太郎

	f・1	f・2	f・3	f・4	f・5
	ファイル読込	文字の復活 (1文字)	アンドウ機能	リピート機能	前方検索
SHIFT +	ファイル保存 (通常)	文字の復活 (まとめて)	アンドウ機能 の取消		後方検索
CTRL +	JW操作・終了	切替メニュー	起動メニュー		ウィンドウ 切替
SHIFT + CTRL +	ファイル保存 (Ver4形式)				
	f・6	f・7	f・8	f・9	f・10
	範囲先指定 (行)	削除	クリップ	ペースト	入力モード 変更
SHIFT +	範囲先指定 (文字)			選択ペースト	総メニュー
CTRL +	単語登録	外字ファイル 変更*1	辞書ファイル 変更	固定入力 切替	句読点モード 切替
SHIFT + CTRL +	範囲先指定の 解除・復活				

※マクロでの割付可能キーは

ATOK入力・変換中

	f・1	f・2	f・3	f・4	f・5
	辞書1	辞書2	辞書3	辞書4	辞書5
SHIFT +	辞書6	辞書7	辞書8	辞書9	辞書0
CTRL +	AMET対応 ドライバ1	AMET対応 ドライバ2	AMET対応 ドライバ3	AMET対応 ドライバ4	AMET対応 ドライバ5
SHIFT + CTRL +	AMET対応 ドライバ6	AMET対応 ドライバ7	AMET対応 ドライバ8	AMET対応 ドライバ9	AMET対応 ドライバ0
	f・6	f・7	f・8	f・9	f・10
	ひらがな変換	カタカナ変換	半角変換	無変換	
SHIFT +	部首変換*2	短文呼出*3	変換辞書 切替	AMET対応 ドライバ切替	総メニュー
CTRL +				固定入力 切替	句読点モード 切替
SHIFT + CTRL +					コマンド登録 呼出

*1 DOS上でのみ有効

*2 ATOK変換中は無効

*3 一太郎上でのみ有効

一太郎のキー機能

カーソル移動

/ CTRL + E (イ)	上へ移動
/ CTRL + X (サ)	下へ移動
/ CTRL + S (ト)	左へ移動
/ CTRL + D (シ)	右へ移動
CTRL + K (ノ)	行頭へ移動
CTRL + L (リ)	行末へ移動
CTRL + O (ラ)	行の最後尾へ移動
CTRL + T (カ)	行の中央へ移動
SHIFT +	次の行の行頭へ移動
CTRL + · · ·	分割画面間のジャンプ
CTRL + J (マ)	ジャンプメニューを表示
TAB	右隣の罫線枠の左端へ移動
SHIFT + TAB	左隣の罫線枠の左端へ移動
	下の罫線枠の左端へ移動
SHIFT + CTRL + K (ノ) · L (リ)	罫線モード時 罫線上を左・右へ移動

画面スクロール

SHIFT + · · ·	上下左右高速スクロール
ROLLUP / CTRL + Z (ツ)	上へ画面スクロール
ROLLODOWN / CTRL + Q (タ)	下へ画面スクロール
CTRL + F (ハ)	右へ画面スクロール
CTRL + A (チ)	左へ画面スクロール
CTRL + B (コ)	前画面を表示
CTRL + N (ミ)	次画面を表示
CTRL + G (キ)	画面表示切替メニューを表示
SHIFT + CTRL + G (キ)	画面モード(高速・精細)の切替
GRPH + G (キ)	編集画面タイプ(通常・イメージ)の切替

編集

BS / CTRL + H (ク)	カーソル前の1音削除
DEL	カーソル上の1音削除
SHIFT + CTRL + BS	カーソル前から行頭までの文字削除
SHIFT + INS	1行挿入
SHIFT + DEL	1行削除
CTRL + V (ヒ) / F2	DEL・BSで削除した文字列の1文字ずつの復活
SHIFT + CTRL + V (ヒ) / SHIFT + F2	DEL・BSで削除した文字列のひとまとめの復活
CTRL + P (セ)	改ページ
ESC / CTRL + I	コマンドメニューを表示
CTRL + R (ス) / F4	リピート機能
CTRL + U (ナ) / F3	アンドゥ機能
SHIFT + CTRL + U (ナ) / SHIFT + F3	アンドゥしたものを元へ戻す
CTRL + I (ニ) · Y (ン)	インデント設定
CTRL + Y	罫線コマンドを実行

ATOKのキー機能

確定後		記号入力モード中	
[F10]	入力モード変更	[SHIFT]+[F7]	コード体系切替
[XFER]	漢字・半角モード切替	[↑]/[SHIFT]+[XFER]	前候補群表示
[NFER]	半角無変換固定入力	[↓]/[XFER]	次候補群表示
[SHIFT]+スペースキー	半角スペース入力	[←]/[SHIFT]+スペースキー	前候補に反転カーソルを移動
[CTRL]+スペースキー		[→]/スペースキー	次候補に反転カーソルを移動
[SHIFT]+[F10]	総メニュー 漢字モード(変換モード・入力モード・入力文字・学習・外字*1 辞書・固定入力・句読点・英字入力・送り仮名・単語登録*1・入力位置*1・外字プリンタ登録*1) 半角モード(通常・発音・独仏) コード入力モード(JIS・シフトJIS・区点) 記号モード(モード変更・コード体系変更)	[TAB]	現在表示の候補群から1区後の候補群表示
[SHIFT]+[NFER]	全角・半角無変換固定入力切替	[SHIFT]+[TAB]	現在表示の候補群から1区前の候補群表示
[SHIFT]+[CTRL]+[R](ス)	確定のリビート*2	[HOME]	コード番号の先頭に移動
[CTRL]+[F6]	単語登録	[SHIFT]+[HOME]	外字の先頭に移動
[CTRL]+[F7]	外字ファイル変更*1		
[CTRL]+[F8]	辞書ファイル変更		
[CTRL]+[F9]	固定入力切替		
[CTRL]+[F10]	句読点モード切替		
[CTRL]+[BS]	確定のアンドウ		
[CTRL]+[NFER]	全角・半角カタカナ／全角ひらがな固定入力切替		

*1 DOS上でのみ有効

*2 JW上でのみ有効

入力・変換・再変換中

変換操作

	入力中	文節区切り変更中	変換・部分確定中
スペースキー	変換		変換・次候補に変換[1]
[XFER]	変換		変換・次候補群表示[1][次]
[SHIFT]+スペースキー	変換		変換・次候補に変換[1]
[CTRL]+スペースキー			
[↑]	_____	_____	前候補に変換
[SHIFT]+[XFER]	_____	_____	前候補群表示[次]
[F6]/[CTRL]+[U](ナ)	ひらがな変換	反転部ひらがな変換	
[F7]/[CTRL]+[I](ニ)	カタカナ変換	反転部カタカナ変換	
[F8]/[CTRL]+[O](ヲ)	半角変換	反転部半角変換	
[F9]/[CTRL]+[P](テ)	無変換	反転部無変換	
[SHIFT]+[F6]	部首変換		
[GRPH]+スペースキー			
[F1]～[F5]	辞書1～5変換		
[SHIFT]+[F1]～[F5]	辞書6～0変換		

文字編集・確定・取消操作

	入力中	文節区切り変更中	変換・部分確定中
[F10] / [CTRL] + [N] (ニ)	入力した文字列全体を確定 反転部を確定[自]	反転部を確定	
[SHIFT] + [F10]	先頭の1音確定	先頭の1音確定 [BS]キーを押せば1音確定[再]	
[F11] / [CTRL] + [M] (モ)	入力した文字列全体を確定		
[ROLLUP]	_____	_____	1文字確定(先頭)
[ROLLODOWN]	_____	_____	1文字確定(最終)
[BS] / [CTRL] + [H] (ク)	カーソル前の1音削除	注目文節以降の変換を解除し入力可能にする	
[INS]	_____	変換を解除し入力可能にする	
[ESC] / [CTRL] + [I]	文字列全体を消去	文字列全体を消去 文字列全体を確定[再]	
[DEL]	カーソル上の1音削除[2]	カーソル上の1音削除[3] [BS]キーを押せばカーソル上の1音削除[再]	

カーソル・文節移動

	入力中	文節区切り変更中	変換・部分確定中
[←] / [CTRL] + [K] (ノ)	文節区切りを1音左移動[自] カーソル左移動	文節区切りを1音左移動	
[→] / [CTRL] + [L] (リ)	文節区切りを1音右移動[自] カーソル右移動	文節区切りを1音右移動	
[SHIFT] + [←]	_____	_____	注目文節を左へ移動
[SHIFT] + [→]	_____	_____	注目文節を右へ移動
[CTRL] + [←]	カーソルを文頭へ移動	_____	注目文節を先頭へ移動
[CTRL] + [→]	カーソルを文末へ移動	_____	注目文節を最終へ移動

機能の実行

	入力中	文節区切り変更中	変換・部分確定中
[SHIFT] + [F8]	変換辞書切替		
[SHIFT] + [F9]	AMET対応ドライバ切替		
[SHIFT] + [F10]	総メニュー(固定入力、句読点、英字入力、AMET、変換辞書)		
[SHIFT] + [NFER]	全角・半角無変換 固定入力切替	全角・半角無変換 固定入力切替[3]	
[CTRL] + [F9]	固定入力切替		
[CTRL] + [F10]	句読点モード切替		
[CTRL] + [NFER]	全角・半角カタカナ／ 全角ひらがな固定入力切替	全角・半角カタカナ／ 全角ひらがな固定入力切替[3]	
[CTRL] + [DEL]	_____	_____	単語削除
[NFER]	半角無変換固定入力	半角無変換固定入力[3]	

[自] 自動かな漢字変換のみ

[再] 再変換中のみ

[次] 次候補表示状態

[1] 自動かな漢字変換では未変換文字列がある場合は強制変換し、再度押せば次候補に変換

[2] 自動かな漢字変換では[INS]キーを押してから有効

[3] [INS]キー、[BS]キーを押してから有効

ジャストウィンドウのキー機能

ジャストウィンドウ

CTRL + F+1	JW操作・終了のメニューを表示
CTRL + F+2	切替メニューを表示
CTRL + F+3	起動メニューを表示
CTRL + F+5	ウィンドウ切替

JWシェル

TAB / SHIFT + TAB	一覧画面間のカーソル移動
CTRL + F+1, F+2, F+3, F+5	
CTRL + G (キ)	画面コマンドの呼び出し

ダイレクトコマンド 次の英字キー(大文字で表記)を入力すると各コマンドを実行 *1

	プログラム一覧	ファイル一覧	ツリー表示
Copy	プログラムのコピー	ファイルのコピー	ディレクトリのコピー
Move	プログラム・グループの移動	ファイルの移動	ディレクトリの移動
Del	プログラム・グループの削除	ファイルの削除	ディレクトリの削除
Ren	_____	ディレクトリ名・ファイル名の変更	ディレクトリ名の変更
Attr	_____	ファイル属性の変更	_____
mKdir	_____	サブディレクトリの作成	サブディレクトリの作成
Find	_____	ファイル名の絞り込み	ファイル名の絞り込み
Sel	_____	ワイルドカードで表示ファイルを限定	ワイルドカードで表示ファイルの限定
Prn	ツール印刷の実行	ツール印刷の実行	_____
Info	プログラム・グループの情報表示	ファイル・ディレクトリの情報表示	ディレクトリの情報表示
Trace	_____	入力した英字のファイル名へカーソル移動	_____
Label	_____	_____	ドライブのボリューム名変更
pRogram	プログラム登録の実行	_____	_____
GrouP	グループ登録の実行	_____	_____
Edit	プログラム・グループ登録の修正	_____	_____

*1 ダイレクトコマンドを有効にしている場合に実行可能

ウィンドウメニューの機能

キー操作の場合

CTRL+f・1 JW操作・終了

P・画面分割
R・サイズ変更
L・ロック
S・保存終了
B・中断
Q・強制終了

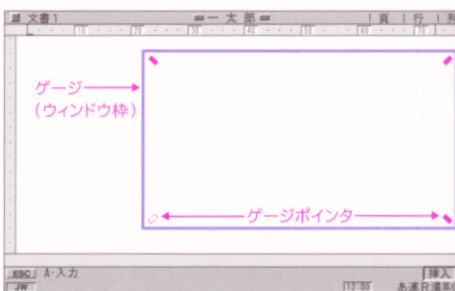
V・上下
H・左右

F・フルサイズ
M・フリー
T・タイトル
G・ゲージ

- 画面表示をロック
- 編集中文書を保存して終了
- 編集作業を一時中断
- 起動プログラムを一度に終了
- 上下にウィンドウを配置
- 左右にウィンドウを配置
- フルサイズに拡大
- 直前のサイズに戻る*1
- タイトルサイズに縮小
- ゲージ(ウィンドウ枠)の表示

ゲージ操作

スペースキー：ゲージポインタの表示・ポインタ位置の変更
[F1]・[F4]・[F5]・[F6]：ウィンドウの拡大・縮小と移動



CTRL+f・2 切替メニュー

0・DOS 3770
1・文書1
2・

- DOS ← COMMAND.COMの起動*2
- 一太郎 ← 一太郎に切替
- JWSHELL ← JWシェルに切替


CTRL+f・3 起動メニュー*3

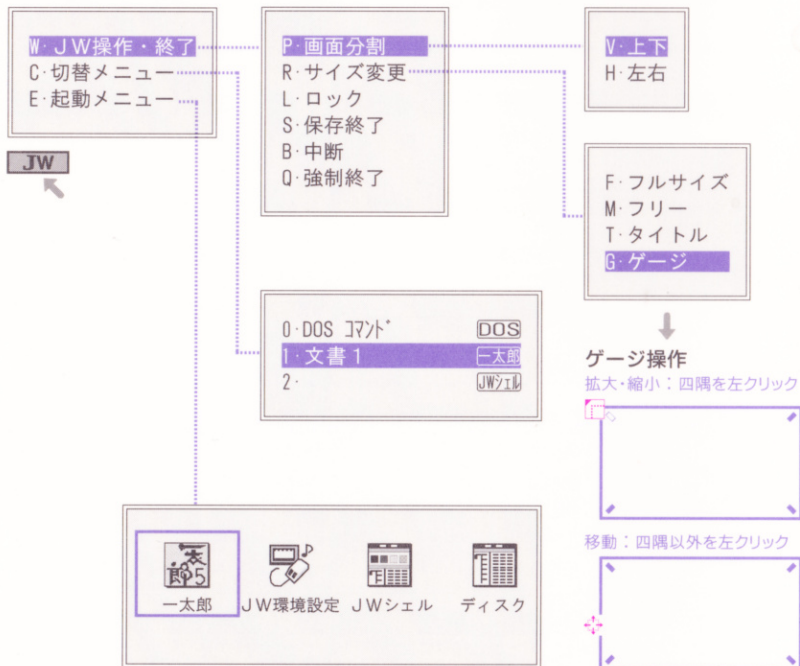
一太郎 JW環境設定 JWシェル ディスク

CTRL+f・5 ウィンドウ切替

*1 フルサイズ・タイトル時
*2 EXIT入力または[F・10]で元の状態に戻る
*3 起動メニューにプログラムを登録する場合、JWSHELLの起動メニューグループに登録を実行
▶ JWシェル A(ア)・プログラム-P(フ)・プログラム登録

マウス操作の場合

 JW ボタンを左クリック



「このシールはシリアルナンバーシールです。
保存用ディスク(No.2以降)の各ラベルに必ず
貼付し、大切に保管してください。」

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430

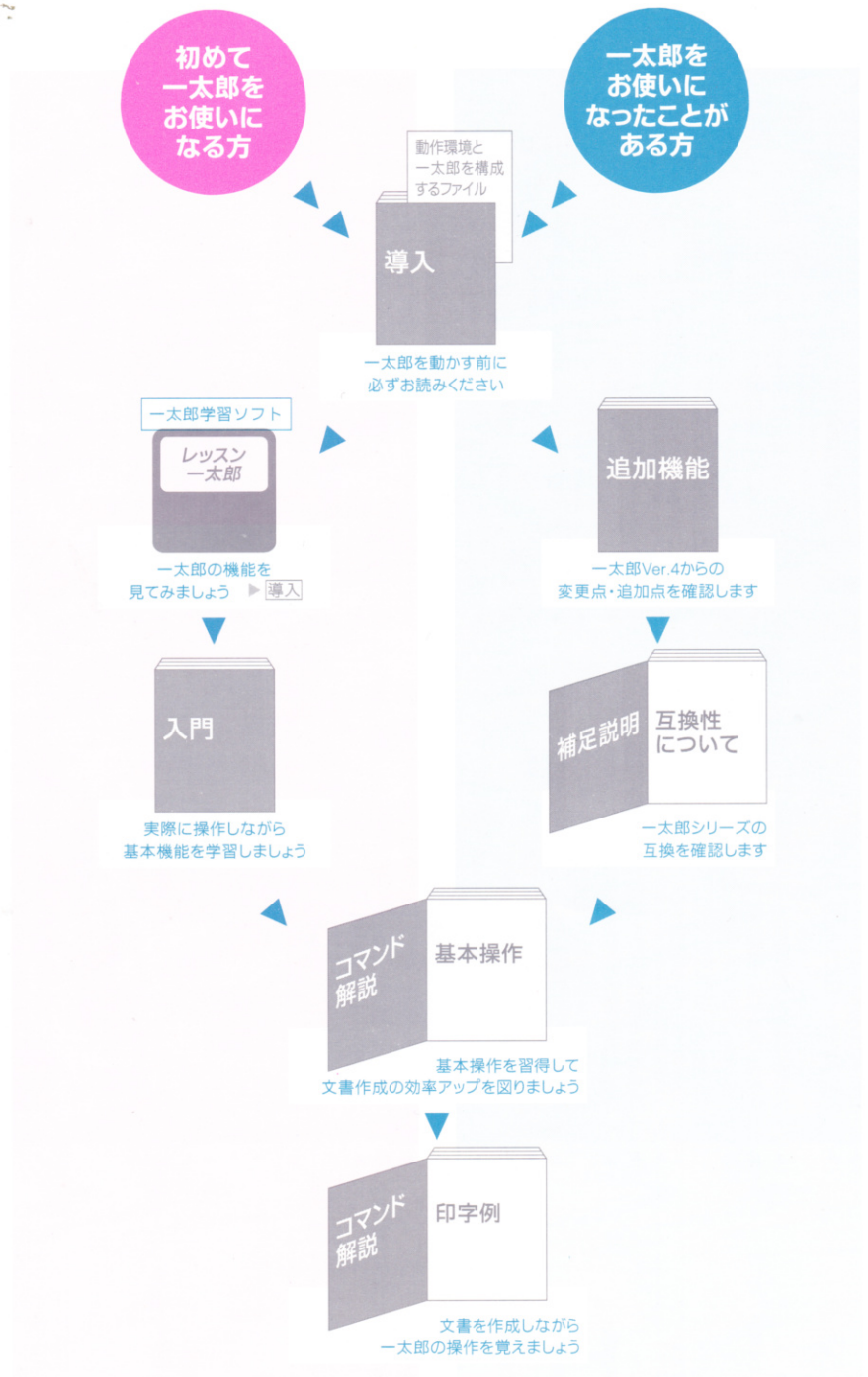
1041100155-P225430

1041100155-P225430

1041100155-P225430



● マニュアルの読み進め方



- 各コマンドの機能について知りたいとき ▶ **コマンド解説**
- 文字入力操作について詳しく知りたいとき ▶ **ATOK8**
- ユーティリティを活用したいとき ▶ **ウィンドウ**
- JWシエルを利用したいとき ▶ **ウィンドウ**
- メッセージや制限事項を確認したいとき ▶ **補足説明**

各マニュアルの概要

● 本製品のマニュアルは次のように構成されています。お使いの状況や用途に合わせてご利用ください。

導入

一太郎 Ver.5 の導入作業について解説しています。

一太郎を動かす前に必ずお読みください。

※「動作環境と一太郎を構成するファイル」はプリンタの対応機器一覧や、一太郎を動かす前に確認していただきたい動作環境の制限事項、および保存用ディスクのファイル構成について記載しています。

入門

一太郎を初めてお使いになる方を対象に、文書作成から印刷まで順を追って解説しています。

実際に操作しながら基本機能の学習をすすめることができます。

コマンド解説

一太郎の各コマンドの機能や操作方法について解説しています。

目次や索引を利用して辞書を引くようにお使いいただけます。

また、画面やカーソル、コマンドの選択方法などの基本操作についても解説しています。

ジャストウィンドウ

ジャストウィンドウとはどのようなものか、また、ジャストウィンドウ上で使用できる各種ユーティリティについて解説しています。

ATOK8

ATOK8を利用した文字の入力・変換方法や、辞書の上手な利用方法について解説しています。

補足説明

一太郎の互換性について解説しています。

また、一太郎やジャストウィンドウ・各ユーティリティを使用している場合の制限事項や、動作中に表示されるメッセージとその対処方法をあげています。

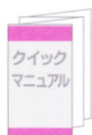
巻末には、キーの機能や、一太郎のコマンド実行後に表示されるマークや記号、独仏文字・発音記号を入力するのに便利なキーボード図をまとめています。

追加機能

一太郎 Ver.4 をお使いの方のために、変更点・追加点を紹介しています。

● わからないことがあったとき

操作中にわからないことがあったときは、次を参照してください。



ATOK8や一太郎の基本的なキーの使い方やジャストウィンドウの機能を記載しています。



一太郎・ジャストウィンドウ・ATOK8の機能を目的別に整理し、参照マニュアルを示しています。



● コマンド体系

一太郎のコマンドの一覧をまとめています。

● 印字例

一太郎で作成できる文書例と、使用するコマンドを記載しています。



● 目次


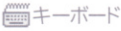



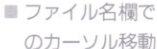





各タイトルをまとめています。

● 索引



マニュアル中の語句を五十音順、記号・数字・アルファベット順に整理し、参照ページを示しています。

● 表記について

各種のマーク

	<p>操作の手順を記載しています。</p>	 	<p>それぞれ、キーボード、マウスでの操作の手順を記載しています。</p>
 	<p>知っておくと便利な利用方法や、コマンドを操作中に困ったときの解決方法などを解説しています。</p>		<p>コマンド実行中の補足的な説明や制限事項などを記載しています。</p>
	<p>知っているとう理解しやすいポイントを解説しています。</p>	<p>▶ P.123</p>	<p>同マニュアル中での参照ページを示しています。</p>
 	<p>注意事項や制限事項などを記載しています。</p>	<p>▶ ウィンドウ</p>	<p>参照マニュアルを示しています。ウィンドウの場合は、ジャストウィンドウマニュアルをご覧ください。</p>
	<p>特に注意していただきたい事項を記載しています。</p>	<p>└</p>	<p>半角1個分のスペース(空白)を意味します。スペースキーを1回押す操作を指します。</p>
	<p>具体的な例をあげて操作の流れを解説しています。</p>	<p>■</p>	<p>カーソルを意味します。</p>

キーについて

<p>ESC キー</p>	<p>それぞれのキーは、ESC キーのように、 で囲んで表記します。</p>
<p>Y (ン) キー</p>	<p>文字キーは、アルファベットを で囲み、該当するカナを () で表記します。 この例は、ローマ字入力の場合は Y キー、カナ入力の場合は ン キーを押すことを示します。</p>
<p>SHIFT + ESC キー</p>	<p>同時に2つのキーを押す場合は、2つのキーの間を+でつなぎます。 この例は、SHIFT キーを押しながら ESC キーを押すことを示します。</p>
<p> キー</p>	<p>キーボードの  キーを押します。</p>
<p>XFER (機種①) キー</p>	<p>PC-9800シリーズ以外の機種で別のキーが割り付けられていることを表します。PC-9800シリーズの場合は、そのままのキーでご使用いただけます。</p>

コマンドについて

一太郎 Ver.5では、コマンドの頭文字を英字で表示するか、カナで表示するかを設定することができます。

画面では、**T・ファイル** または、**フ・ファイル** のように表示されます。

マニュアル本文では **T(フ)・ファイル** のようにカナを()で表記し、画面図では **T・ファイル** と英字で表記しています。

キーボード・マウスの操作について

一太郎 Ver.5はキーボードとマウスのどちらでも操作することができます。

マニュアルでは、キーボード操作を中心に解説しています。必要箇所のみキーボード操作とマウス操作に分けて解説しています。

メニュータイプについて

一太郎 Ver.5には、ESCメニューとプルダウンメニューの2つのメニュータイプが用意されています。ESCメニューとプルダウンメニューの両方を持つプログラムの場合、マニュアルでは、初期設定のメニューのコマンド体系で解説しています。

プロンプト(A:¥)について

AUTOEXEC.BAT ファイルなどで次のように設定している場合、プロンプトが **A:¥>** のように表示されます。

```
PROMPT $P$G
```

この記述がない場合は、**A>** のように表示されます。マニュアルでは、すべて **A:¥>** のように表記します。

ドライブ・ディレクトリについて

マニュアルでは、ハードディスクをドライブ**A**、フロッピーディスクドライブをドライブ**B**として解説しています。

また、**T(フ)・ファイル**—**L(ヨ)・読込** などのコマンド実行時の対象ディレクトリを、サンプル文書をインストールしたディレクトリの初期設定 **JSDOC** として解説しています。

製品名について

マニュアルでは、一太郎 Ver.5を **一太郎** と表記します。また、ジャストウィンドウ Ver.2を **ジャストウィンドウ** と表記します。ただし、混乱を生じる可能性がある場合は、それぞれ **一太郎 Ver.5**、**ジャストウィンドウ Ver.2** と表記します。

●マニュアルの見方

各マニュアル、またはページにより多少異なりますが、次のようになっています。

※下図はサンプル用に作成したもので、実際の内容とは異なります。

コマンド頭文字(英字)

ローマ字入力の場合に利用してください

コマンド名

タイトル

第1・第2階層コマンド
のインデックスとして
利用してください

コマンド頭文字
(カナ)

カナ入力の場合に利
用してください

コマンドの機能

どんな機能なのか、
どのように利用するの
かを解説しています

操作の手順

操作の手順をまとめています

画面表示の説明

項目設定画面やコマンド実行中に表示される項目について解説しています

利用方法

便利な利用方法や困ったときの解決方法などを解説しています

補足説明

補足的な事項をまとめています

操作例

操作の流れを具体的に例をあげて解説しています

U(半)・特殊-N(ハ)・通番

N・通番

(ハ)

文章全体を通して振られる番号を **通番** といいます。

このコマンドで第1章、第1章第1節、1.1のような章題や、図① 表Ⅰ 例[1]などのタイトルを設定すると通番になります。

【通番を設定する場合】

①通番書式を選択

反転カーソルを移動し \square キーを押すか、または書式番号を入力。

②実行位置を指定

操作

【F・1】[詳細]での設定画面

①書式／【F・4】[関連付け]／【F・5】[数字種類]

半角で50文字(全角で25文字)以内で通番書式を入力します。

②親書式

どの書式を親として通番を付けるかを設定します。

設定済みの通番書式を変更する

【F・1】[詳細]キーで変更したい通番書式を変更すると、すでに文書中にある同じ書式はすべて自動的に変更されます。

≡ 文書中の通番は、青色文字でアンダーラインが付いて表示される。

ご参照ください

操作例

親書式と関連付け機能を使って通番を設定する

通番選択 次の文の()内から通番の語
The cat wanted (a few many, a little)
John has a (few little, much many)
Do you have (many, much, a few) more
How(many, much, any)girls were there

⇒

1. 通番選択 次の文の()内から通番
The cat wanted (a few many, a little)
John has a (few little, much many)
Do you have (many, much, a few) more
How(many, much, any)girls were there

①N(ハ)・通番 を選択し、書式1にカーソルを合わせ、【F・1】[詳細]キー

②次のように設定し、 \square キーで決定

【F・1】～【F・5】[数字種類]キーから I II III ... を選択して入力します。

親書式は、独立 を選択します。

U(半)
特殊

254

機能別総索引

こんなことがしたい	機能	コマンド
	■一太郎を動かす準備 一太郎に必要な機器 一太郎をインストールする	▶ 導入 一太郎に必要なものを確認します ▶ 導入 インストールを行います
新しい文書を作りたい 起動と同時に文書が画面表示されているようにしたい	■一太郎を起動する DOSから一太郎を起動する 別の一太郎を起動する 文書を読み込んで一太郎を起動する	▶ 導入 一太郎を起動して、プリンタ機種を設定します ▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－N(ス)・新規 ▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－E(キ)・起動読込、 ウインドウ JWシェル 基本操作
作業を一時中断したい 一度にまとめて終了したい	一太郎を終了する 中断前の状態を記憶し、次回起動時に再現する 起動しているプログラムを一度に終了する	▶ 導入 一太郎を起動して、プリンタ機種を設定します、 コマンド解説 Q(リ)・終了 ▶ ウインドウ ウインドウメニューとウインドウ操作 B(チ)・中断 ▶ ウインドウ ウインドウメニューとウインドウ操作 Q(シ)・強制終了
別のページを見たい／すばやくカーソルを移動したい 特定の文字にいろいろな編集を行いたい 実行するコマンド別に範囲を指定しておきたい 文書を編集しながら範囲を指定しておきたい 同じコマンドを何回も繰り返したい 削除してしまった文字を元に戻したい	■基本操作 カーソルを移動する コマンドを選択する(項目設定／範囲指定／実行位置指定) コマンドを実行する対象として同じ文字を指定しておく コマンドを実行する範囲に名前をつけておく コマンドを実行する範囲を先に指定しておく コマンドを繰り返し実行する コマンド実行前の状態に戻す いろいろな機能をキーですばやく操作する ヘルプを利用する	▶ コマンド解説 カーソルについて、J(ト)・ジャンプ ▶ コマンド解説 コマンドについて ▶ コマンド解説 S(ケ)・検索－C(セ)・選択 ▶ コマンド解説 F(シ)・書式－H(メ)・範囲名 ▶ コマンド解説 コマンドについて ▶ コマンド解説 コマンドについて ▶ コマンド解説 コマンドについて ▶ 補足説明 キーの機能一覧 ▶ コマンド解説 ヘルプについて、H(ホ)・補助－H(ヘ)・ヘルプ
文書の複数箇所を見比べながら編集したい 大きな表を一目で見たい 別の文書を参照しながら文書を作りたい 縦書きや段組を確認しながら編集したい／ 自由サイズや欧文フォントを使って文書を作成したい	■画面表示を変更する 各表示の名称や意味 好みの画面・色に切り替える 画面モード・ゲージのタイプ メニュータイプ・背景色 画面サイズ・画面色 スクロールバータイプ・コマンド頭文字・時刻表示 画面配色を変更する 1つの文書の画面を分割する 大きな文書を縮小して表示する 2つの文書を同時に画面表示する 印刷のイメージを確認しながら編集する	▶ コマンド解説 画面について ▶ コマンド解説 O(オ)・オプション－G(カ)・画面、W(ウ)・画面－G(モ)・画面表示 ▶ コマンド解説 O(オ)・オプション－S(シ)・システム ▶ ウインドウ ウインドウ環境設定ユーティリティ G(カ)・画面設定 ▶ ウインドウ ウインドウ環境設定ユーティリティ S(シ)・システム設定 ▶ ウインドウ カラー設定ユーティリティ ▶ コマンド解説 W(ウ)・画面 ▶ コマンド解説 W(ウ)・画面－S(ユ)・縮小 ▶ ウインドウ ウインドウメニューとウインドウ操作 P(フ)・画面分割、 R(サ)・サイズ変更 ▶ コマンド解説 画面について、O(オ)・オプション－G(カ)・画面
難しい漢字を入力したい	■文字を入力する 漢字かな交じり文を入力・変換する 半角文字を入力する 部首から漢字を入力する／コード番号から入力する 記号を入力する カタカナ・アルファベット・ひらがなを入力する いろいろなサイズで文字を入力する ふりがなを入力する	▶ ATOK8 入力・変換方法 ▶ ATOK8 入力・変換方法 ▶ ATOK8 入力・変換方法 ▶ ATOK8 入力・変換方法 ▶ ATOK8 入力・変換方法 ▶ ATOK8 入力・変換方法 ▶ コマンド解説 N(ス)・サイズ－I(ニ)・入力サイズ ▶ コマンド解説 F(シ)・書式－U(ル)・ルビ枠／P(ハ)・改行幅－R(ル)・ルビ

こんなことがしたい	機能	コマンド
<p>一太郎で作った文書を他のアプリケーションで使いたい ▶</p> <p>イラストや図形・グラフを文書に入れたい ▶</p> <p>イラストや図形・グラフを変更したときには、文書に入れた方も自動的に変更してほしい ▶</p> <p>グラフや図形を移動したい ▶</p> <p>花子Ver.2の図形を使いたい ▶</p> <p>特定のことばを含む文章だけを表示したい ▶</p> <p>特定の文字にいろいろ編集を行いたい ▶</p> <p>実行するコマンド別に範囲を指定しておきたい ▶</p> <p>メモや覚え書きを入れたい ▶</p>	<p>ジャストウィンドウ上のアプリケーションとデータをやりとりする</p> <p>データをクリップボードに積み込む ▶</p> <p>文書中に他のアプリケーションで作成したデータを組み込む ▶</p> <p>作成アプリケーションでの変更を反映するようにデータを組み込む ▶</p> <p>クリップボードの記憶数を設定する ▶</p> <p>組み込んだデータを編集する 移動／拡大縮小／削除 ▶</p> <p>図面ファイルの図形・部品ファイルを利用する</p> <p>文字を検索する</p> <p>飾りを検索する</p> <p>別の文字に置き換える</p> <p>特定の文字が含まれるファイルを探す</p> <p>特定の文字のある段落だけを表示する ▶</p> <p>コマンドを実行する対象として同じ文字を指定しておく ▶</p> <p>コマンドを実行する範囲に名前をつけておく ▶</p> <p>印刷されない行にする ▶</p>	<p>コマンド解説 クリップボードについて</p> <p>コマンド解説 L(タ)・クリップ</p> <p>コマンド解説 X(ハ)・組込</p> <p>コマンド解説 X(ハ)・組込－L(リ)・組込リンク</p> <p>ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ S(シ)・システム設定</p> <p>コマンド解説 X(ハ)・組込－M(イ)・移動／Z(ス)・ズーム／S(ヘ)・枠サイズ／D(サ)・削除</p> <p>補足説明 図形切取ユーティリティ</p> <p>コマンド解説 S(ケ)・検索－S(ケ)・検索</p> <p>コマンド解説 S(ケ)・検索－E(カ)・飾り検索</p> <p>コマンド解説 S(ケ)・検索－R(チ)・置換</p> <p>コマンド解説 V(ツ)・拡張－S(ト)・全ファイル検索、 ウィンドウ JWシェル S(ケ)・検索</p> <p>コマンド解説 S(ケ)・検索－G(シ)・絞込</p> <p>コマンド解説 S(ケ)・検索－C(セ)・選択</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－H(メ)・範囲名</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－V(ユ)・注釈行</p>
<p>用紙サイズを変えたい／縦書きにしたい／左右の余白を大きくしたい／</p> <p>1ページの行数・1行の文字数を増やしたい ▶</p> <p>同じレベルの見出しに同じ飾りを付けたい ▶</p> <p>ページ番号の付け方を変えたい ▶</p> <p>文書の左上や右上に日付を入れたい ▶</p> <p>同じ書式の文書にしたい ▶</p>	<p>■ 文書の書式を設定する</p> <p>文書のスタイルを設定する</p> <p>ページごとにスタイルを変更する</p> <p>部分的にスタイルを変更する</p> <p>文字サイズ／1行文字数／行送り(改行幅)／字間(密着)／フォント ▶</p> <p>段落単位で書式を設定する ▶</p> <p>ページ番号を設定する ▶</p> <p>ヘッダ・フッタを付ける ▶</p> <p>他の文書の書式を読み込む ▶</p>	<p>コマンド解説 スタイル・段落書式について</p> <p>コマンド解説 P(イ)・印刷－S(ス)・スタイル</p> <p>コマンド解説 P(イ)・印刷－B(ル)・ページスタイル</p> <p>コマンド解説 N(ス)・サイズ、F(シ)・書式、R(ン)・フォント</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－A(ヨ)・段落書式</p> <p>コマンド解説 P(イ)・印刷－E(サ)・補助スタイル</p> <p>コマンド解説 P(イ)・印刷－H(ヘ)・ヘッダ／F(フ)・フッタ</p> <p>コマンド解説 T(フ)・ファイル－F(シ)・書式読込</p>
<p>表が間延びしているので行間を詰めたい ▶</p> <p>行頭を下げたい／行末を左にずらしたい ▶</p> <p>特定の部分に文字が入力されるようにしたい ▶</p>	<p>■ 文字の位置を整える</p> <p>部分的に1行の文字数を増やす</p> <p>文書を2段・3段に並べる</p> <p>1段の文字数や段間を設定する</p> <p>文字列を指定範囲内の中央・右端・左端に配置する</p> <p>部分的に行の間隔を変更する ▶</p> <p>文字列を指定範囲内に均等に配置する</p> <p>文字と文字の間隔を詰めて印字する ▶</p> <p>行頭・行末をそろえて入力する</p> <p>TABキーで移動する位置を自由に変える</p> <p>文字が入らないように空白を作っておく</p> <p>ページに分割されては困る部分を同じページに収める</p> <p>四角い範囲に文字が収まるようにする ▶</p>	<p>コマンド解説 F(シ)・書式－S(モ)・文字数</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－K(ク)・段組</p> <p>コマンド解説 P(イ)・印刷－E(サ)・補助スタイル</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－C(セ)・センタリング／R(ミ)・右寄せ／L(ヒ)・左寄せ</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－P(ハ)・改行幅</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－E(キ)・均等</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－M(チ)・密着</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－I(イ)・インデント</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－T(タ)・タブ設定</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－W(ア)・枠あけ</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－J(ケ)・行結合</p> <p>コマンド解説 F(シ)・書式－B(フ)・ブロック化</p>

こんなことがしたい	機能	コマンド
<p>アンダーラインを引きたい／文字を太字にしたい 文字を大きくしたい／H₂Oと入力したい</p> <p>ゴシック体にしたい／いろいろな書体を使用したい</p> <p>単語が2行にまたがらないようにしたい／英単語との間にいつもスペースを入れるのは面倒</p>	<p>■文字を変更する</p> <p>文字に飾りを付ける</p> <p>文字のサイズを変更する</p> <p>入力されている文字のサイズを変更する</p> <p>ふりがなを入力する</p> <p>いろいろなサイズで文字を入力する</p> <p>文字にフォントを設定する</p> <p>フォントファイルを設定する</p> <p>文書全体で使うフォントを指定する</p> <p>一部の文字のフォントを変更する</p> <p>欧文処理を行う</p>	<p>▶ コマンド解説 E(カ)・飾り</p> <p>▶ コマンド解説 N(ス)・サイズ</p> <p>▶ コマンド解説 F(シ)・書式－U(ル)・ルビ枠／P(ハ)・改行幅－R(ル)・ルビ</p> <p>▶ コマンド解説 N(ス)・サイズ－I(ニ)・入力サイズ</p> <p>▶ コマンド解説 フォント</p> <p>▶ ウィンドウ フォント設定ユーティリティ</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－R(ン)・フォント、</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－B(ル)・ページスタイル、 F(シ)・書式－A(ヨ)・段落書式、R(ン)・フォント</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－E(サ)・補助スタイル</p>
<p>行間に罫線を引きたい／半角サイズの罫線を引きたい 表を簡単に作りたい</p> <p>2行にまたがって括弧を引きたい／ブレースを付けたい</p> <p>表の線種を一度に変更したい／一度に消したい</p> <p>表を大きくしたい</p> <p>表の中にスムーズに入力したい</p> <p>[H]マークのある行に文字が挿入できない</p>	<p>■表を作成する</p> <p>罫線を引く</p> <p>表を作る</p> <p>斜線・矢印を引く</p> <p>括弧を引く</p> <p>すでに引かれている線種を変更する</p> <p>表を拡大縮小する</p> <p>表の中で文字が折り返すようにする</p> <p>[H]マークを削除して通常行に戻す(保護行解除)</p>	<p>▶ コマンド解説 K(セ)・罫線－K(セ)・罫線／T(キ)・軌跡</p> <p>▶ コマンド解説 K(セ)・罫線－S(シ)・斜線</p> <p>▶ コマンド解説 K(セ)・罫線－P(カ)・括弧</p> <p>▶ コマンド解説 K(セ)・罫線－M(ヘ)・線種変更</p> <p>▶ コマンド解説 K(セ)・罫線－L(ラ)・行／C(レ)・列</p> <p>▶ コマンド解説 F(シ)・書式－B(フ)・ブロック化</p> <p>▶ コマンド解説 K(セ)・罫線－L(ラ)・行－E(カ)・保護行解除</p>
<p>順番が入れ替わっても自動的に変更されるような番号を入力する</p> <p>連番やページを参照させるとき、番号の変更に連動させたい</p> <p>定型文書を流用したい</p> <p>重要度の高い文章だけを表示したい</p> <p>文書の確認を依頼するとき、元の文書を消されたくない</p> <p>VAFを使用したい</p> <p>コマンド操作を簡単にしたい</p> <p>アイコンを変更したい</p>	<p>■効率的に文書を作成する</p> <p>文書中の番号を連番にする</p> <p>番号の変更に連動して参照させる</p> <p>脚注を設定する</p> <p>目次を作成する</p> <p>索引を作成する</p> <p>特定書式の枠を設定する</p> <p>表の数値を計算する</p> <p>文書内容を分類するキーワードを付ける</p> <p>文書内容をキーワードで分類して表示する(ビジョン)</p> <p>文章をレベル分けして表示する</p> <p>文書を添削する</p> <p>注釈を設定する</p> <p>VAFを使う</p> <p>マクロを利用する</p> <p>キーにコマンドを登録する</p> <p>コマンドメニューにマクロを登録する</p> <p>アイコンにマクロを登録する</p>	<p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－N(ハ)・連番</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－R(ン)・参照</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－F(キ)・脚注、P(イ)・印刷－E(サ)・補助スタイル</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－M(ミ)・目次</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－I(サ)・索引</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－L(ロ)・ロック</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－C(ケ)・計算</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－S(ホ)・サイドノート、 P(イ)・印刷－S(ス)・スタイル</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－V(ヒ)・ビジョン</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－K(ラ)・ランク</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－P(コ)・添削</p> <p>▶ コマンド解説 U(キ)・特殊－O(シ)・注釈</p> <p>▶ コマンド解説 H(ホ)・補助－V(ツ)・VAF</p> <p>▶ コマンド解説 Z(マ)・マクロ</p> <p>▶ コマンド解説 Z(マ)・マクロ－A(ワ)・割付－K(キ)・キー、 便利な機能－コマンド登録</p> <p>▶ コマンド解説 Z(マ)・マクロ－A(ワ)・割付－M(メ)・メニュー</p> <p>▶ コマンド解説 Z(マ)・マクロ－A(ワ)・割付－I(ア)・アイコン</p>

こんなことがしたい	機能	コマンド
<p>新しい文書を作りたい ▶</p> <p>一太郎 Ver.4の文書を使いたい／一太郎 Ver.3以前の文書を使いたい ▶</p> <p>不意の停電などからデータを守りたい ▶</p>	<p>■ 文書を読み込む・保存する</p> <p>文書を読み込む</p> <p>別の一太郎を起動する</p> <p>保存した文書を読み込む</p> <p>文書を読み込んで別の一太郎を起動する</p> <p>文書中に別の文書を挿入する</p> <p>文書を保存する</p> <p>いくつかの文書を1つにまとめる</p> <p>他ソフトとデータを交換する(リンク形式)</p> <p>旧文書ファイルを利用する</p> <p>文書に関するさまざまな情報を確認する</p> <p>一定間隔でデータのバックアップをとる</p>	<p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－N(ス)・新規</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－L(ヨ)・読込、ウィンドウ JWシェル 基本操作</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－E(キ)・起動読込</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－I(ソ)・挿入読込</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－S(ホ)・保存／P(イ)・一部保存</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－G(ク)・グルーピング</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－L(ヨ)・読込／S(ホ)・保存、リンク形式</p> <p>▶ 補足説明 互換性について、旧文書の利用</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－J(フ)・文書情報</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－O(オ)・オプション－B(ア)・バックアップ</p>
<p>ファイルを別のドライブ・ディレクトリに移動・コピーしたい／ディレクトリを作成・削除したい／ファイル名・ディレクトリ名を変更したい ▶</p> <p>フロッピディस्कにデータを保存したい ▶</p> <p>過って削除したファイル・ディレクトリを元に戻したい ▶</p>	<p>■ ファイル・ディレクトリの操作</p> <p>ファイルを一覧表示する形式を設定する</p> <p>ファイルの移動・コピー・削除と名前の変更</p> <p>ディレクトリの作成・削除と名前の変更</p> <p>指定ファイル・ディレクトリの情報を表示する</p> <p>フロッピディस्कを初期化する</p> <p>ファイル・ディレクトリを復活する</p>	<p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－O(オ)・オプション－D(イ)・一覧形式、ウィンドウ JWシェル</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－C(ナ)・文書名、ウィンドウ JWシェル T(フ)・ファイル、D(テ)・ディレクトリ、H(ホ)・補助</p>
<p>原稿用紙に印刷したい／必要な部分だけを印刷したい ▶</p> <p>宛名だけを変えて何回も印刷したい ▶</p> <p>同じような枠飾りをどのページにも付けたい ▶</p> <p>2ページ分を1枚に印刷したい ▶</p> <p>印刷する前に結果を確認したい ▶</p> <p>大きな文字を綺麗に印刷したい ▶</p>	<p>■ 印刷する</p> <p>文書を印刷する(通常／テスト印刷／部分印刷／原稿印刷)</p> <p>差込印刷する</p> <p>複数のファイル(文書・図面)を連続して印刷する</p> <p>タック用紙に印刷する</p> <p>ページを重ねて印字する</p> <p>袋とじ印刷する</p> <p>プリンタ機種を設定する</p> <p>一覧印刷機能を持つコマンドの用紙を設定する</p> <p>印刷結果を確認する</p> <p>アウトラインフォントを使用する</p>	<p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－P(イ)・印刷</p> <p>▶ コマンド解説 T(フ)・ファイル－Y(コ)・差込ファイル、F(シ)・書式－Y(コ)・差込枠</p> <p>▶ ウィンドウ 連続印刷ユーティリティ</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－T(タ)・タック</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－L(レ)・オーバーレイ</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－S(ス)・スタイル</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－O(オ)・プリンタ設定、ウィンドウ プリンタ設定ユーティリティ</p> <p>▶ ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ P(イ)・プリンタ</p> <p>▶ コマンド解説 P(イ)・印刷－I(ヒ)・イメージ</p> <p>▶ ウィンドウ フォント設定ユーティリティ</p>
<p>インチ単位に変更したい／マウスをドラッグタイプにしたい ▶</p> <p>大きなデータを扱いたい ▶</p> <p>日付・時刻をあわせたい ▶</p> <p>使用するプリンタを設定する／複数のプリンタを登録したい ▶</p>	<p>■ 環境を設定する</p> <p>一太郎の操作環境を整える</p> <p>一太郎で使用する登録ファイルを設定する</p> <p>システムファイルを使い分ける</p> <p>プログラムの作業環境を整える</p> <p>日付・時刻を設定する</p> <p>プリンタ機種を設定する</p>	<p>▶ コマンド解説 O(オ)・オプション－S(シ)・システム</p> <p>▶ コマンド解説 O(オ)・オプション－F(フ)・ファイル</p> <p>▶ 補足説明 ファイルの応用</p> <p>▶ ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ K(エ)・環境設定</p> <p>▶ ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ T(タ)・時刻設定</p> <p>▶ ウィンドウ プリンタ設定ユーティリティ</p>

こんなことがしたい	機能	コマンド
マウスで操作したい	<ul style="list-style-type: none"> ▶ マウスの設定を行う 辞書ファイルを設定する 外字ファイルを設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ N(ニ)・入力装置 ▶ ウィンドウ ATOK 設定ユーティリティ、ATOK8 ATOK8の運用と環境 ▶ ATOK8 ATOK8の運用と環境、 ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ C(ソ)・外字ファイル ▶ ウィンドウ フォント設定ユーティリティ ▶ ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ V(セ)・セイバー ▶ ウィンドウ ウィンドウメニューとウィンドウ操作 L(ロ)・ロック、 スクリーンセイバーの活用 ▶ 導入 ウォールペーパーを使ってみましょう
JWシェルと一太郎をいつも使いたい メニューからプログラムを起動したい 作業を一時中断したい 1度にまとめて終了したい	<p>■ジャストウィンドウを起動する／終了する</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 複数のプログラムを同時に起動する データファイルを指定して起動する ▶ プログラムを起動する ▶ 現在の状態を一時的に記憶して終了する(中断) 中断時のパスワードを設定する ▶ 起動しているすべてのプログラムを一度に終了する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ウィンドウ 基本操作 ▶ ウィンドウ JWシェル ▶ ウィンドウ 起動メニュー、JWシェル 基本操作 ▶ ウィンドウ ウィンドウメニューとウィンドウ操作 B(チ)・中断 ▶ ウィンドウ ウィンドウ環境設定ユーティリティ W(ハ)・パスワード ▶ ウィンドウ ウィンドウメニューとウィンドウ操作 Q(シ)・強制終了
プログラムを画面に2つ表示したい 一太郎の画面サイズを小さくしたい 別の一太郎を編集したい	<p>■ウィンドウに関する操作を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ プログラムを複数起動している場合に画面を分割する ▶ アクティブウィンドウのサイズを変更する ▶ アクティブウィンドウを切り替える 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ウィンドウ ウィンドウメニューとウィンドウ操作 ▶ ウィンドウ ウィンドウメニューとウィンドウ操作 P(フ)・画面分割 ▶ ウィンドウ ウィンドウメニューとウィンドウ操作 R(サ)・サイズ変更、ゲージ操作 ▶ ウィンドウ ウィンドウメニューとウィンドウ操作 C(セ)・切替メニュー、 アクティブウィンドウの切替
JWシェルとは 起動メニューにプログラムを登録したい データファイルからプログラムを起動したい アイコンを変更したい	<ul style="list-style-type: none"> ▶ <p>■JWシェルのスロプログラム一覧に表示するスロプログラムを登録、修正する</p>JWシェルにプログラムを登録する 登録したプログラムをグループとして扱う ▶ 起動メニュー(CTRL+F3)を編集する ▶ プログラムとデータファイルを関連付ける ▶ 各プログラムを示すマークを作成する アイコンを編集・登録する／一覧を確認する アイコンを登録するファイルを設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ウィンドウ JWシェル A(ア)・プログラム ▶ ウィンドウ JWシェル A(ア)・プログラム ▶ ウィンドウ JWシェル A(ア)・プログラム ▶ ウィンドウ JWシェル A(ア)・プログラム ▶ ウィンドウ アイコン作成ユーティリティ ▶ ウィンドウ アイコン作成ユーティリティ E(ハ)・編集、A(ト)・登録、P(イ)・一覧 ▶ ウィンドウ アイコン作成ユーティリティ O(オ)・オプション
他のソフトで使用するキーと重なった	<p>■ダイレクトコマンドでJWシェルのコマンドを実行する</p> <p>■時計、カレンダー、電卓を使用する</p> <p>■DOSのコマンドを実行する</p> <p>■DOS上でATOK8を使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キー割付を変更する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ウィンドウ JWシェル ダイレクトコマンドの利用 ▶ ウィンドウ 関連プログラム ▶ ウィンドウ JWシェル A(ア)・プログラム、 ウィンドウメニューとウィンドウ操作 C(セ)・切替メニュー ▶ ATOK8 DOS上でATOK8を使用する ▶ ATOK8 ATOK8の操作環境を設定する



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

ジャストウィンドウ

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 3

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04012



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

ジャストウィンドウ

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 2

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04011



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

インストールプログラム・
ジャストウィンドウ

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 1

SERIAL NO.

1041100155-P225430

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04010



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

一太郎

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 6

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04015



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

一太郎

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 5

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04014



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

ジャストウィンドウ

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 4

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04013



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

ATOK8

NO. 9

3.5"2HD 保存用ディスク

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム ATOK8, ©1993 株式会社ジャストシステム 11H04018



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

ATOK8

NO. 8

3.5"2HD 保存用ディスク

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム ATOK8, ©1993 株式会社ジャストシステム 11H04017



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

ATOK8

NO. 7

3.5"2HD 保存用ディスク

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム ATOK8, ©1993 株式会社ジャストシステム 11H04016



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

フォント

NO. 12

3.5"2HD 保存用ディスク

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム 11H04021



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

フォント

NO. 11

3.5"2HD 保存用ディスク

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム 11H04020



PC-9800シリーズ
一太郎Ver.5 R.1

フォント

NO. 10

3.5"2HD 保存用ディスク

SERIAL NO.

一太郎Ver.5, ©1993 株式会社ジャストシステム 11H04019



PC-9800シリーズ

一太郎Ver.5 R.1

ヘルプ・レッスン一太郎

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 14

SERIAL NO.

一太郎Ver.5; ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04023



PC-9800シリーズ

一太郎Ver.5 R.1

ヘルプ

3.5"2HD 保存用ディスク

NO. 13

SERIAL NO.

一太郎Ver.5; ©1993 株式会社ジャストシステム

11H04022



NECPC-9800シリーズ

3.5"2HD

システム+辞書

保存用ディスク

SERIAL NO. 1051010115-1592590



NECPC-9800シリーズ

3.5"2HD

印刷2

保存用ディスク

SERIAL NO. 1051010115-1592590



NECPC-9800シリーズ

3.5"2HD

起動+印刷

保存用ディスク

SERIAL NO. 1051010115-1592590